



# 小田桐たかし

流山市議



## ●プロフィール

1973年生まれ、神戸市生まれ。徳島大学医療短期大学部卒。東葛病院・放射線技師として勤務。現在、市議3期、総務委員会副委員長。東初石2-81-9-2-402 ☎090-8567-8858

## ●生活相談担当地域

東初石1～6丁目、西初石2～6丁目、若葉台、駒木、青田、駒木台、市野谷、十太夫、大群、上新宿、上貝塚、桐ヶ谷、南、谷



流山民報

2011年3月号外  
日本共産党流山市議団  
流山市加4-1688 ☎7157-6140

日本共産党流山市委員会の見解をお知らせします。

増税で苦しめて  
障害のある子どもの  
福祉手当まで  
差し押さえなんて

保育園に入れたい。  
増やしてほしい

民主になって  
もっとひどくなった

## くらしの願いを いっしょに実現しましょう

「何のための政権交代？」—自民党も民主党も「国民の願いよりも大企業やアメリカの意向優先」という枠組みにいるからです。流山市でも、暮らし切り捨て・開発優先が続いています。この流れ、ごいっしょに変えましょう。

## 1 家計を応援します

TX使う場合と  
そうでない場合、  
半年の定期代は  
3万円も違う

### 国保料1世帯1万円引き下げ 中学卒業までの医療費無料に

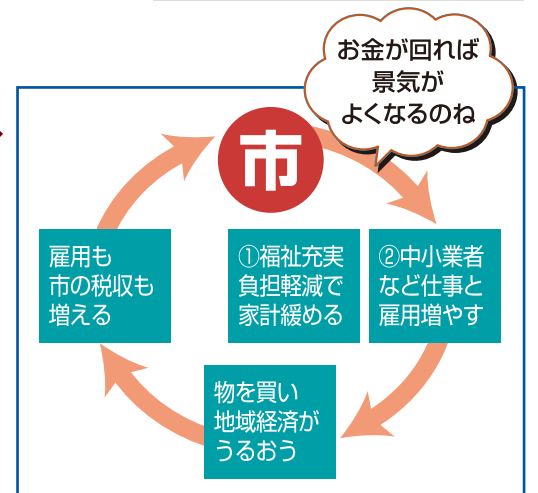
国保会計への繰り入れを増やし、国保の負担を軽減します。子どもの医療費無料化は、自治体の責任です。市の予算の2%のやりくりで実現できます。

### TX運賃値下げを

高すぎる運賃。定期代割引率や通学定期はせめてJRなみに。

## 待機者解消へ 特養ホーム、 保育園建設

約500人の方が特養ホームへの入所を待っています。保育園の待機児解消も待たなしです。暮らしに密着した公共事業で、地元業者の仕事と雇用を増やします。



## 2 仕事と雇用を増やします

予算5000万円で10億円の仕事確保

### 住宅リフォーム 助成制度を

リフォーム工事に補助する制度で、経済波及効果はどこでも20倍前後。仕事をおこし、市民も喜び、税収も増える制度で、全国180自治体が実施しています。

## 正規雇用を促進。若者の就職支援

就職「超氷河期」は社会問題です。若者を1人でも正社員として雇用する企業を応援します。教育、福祉の雇用拡大をすすめます。公共工事でのワーキングプアをなくす「公契約条例」をつくりまします。

## ●財源は…

巨大開発優先のオール与党か、福祉と暮らしを守る日本共産党か問われています。日本共産党は、税金の使い方をただし、暮らしと福祉に使います。



# だからこそ 役に立つ市議を ホントに

新しい市議会でも 日本共産党の4議席が必要です

市民と市政の  
パイプ役に

寝ている  
議員は  
いない

市長に  
しっかり  
もの言う人

## 国・県にも

**公立保育所の建設費、ローン金利引き下げ、オオタカの保護…**

「耐震建替えに国からお金がこない」—公立保育所つばしを正当化する流山市。総務省は「財源の手当てはある」と回答しました。金融庁では住宅ローン金利引下げと銀行への指導を求めました。また、千葉県にオオタカ保護を提案するなど、市民の願い実現のため、国・県とも交渉を重ねています。



●TPP—「生き残れるのは」だわり米だけ「市担当」

民主党管政権が進めるTPP。その影響は、農林漁業、食品の安全基準緩和、混合診療導入など、広範囲でかつ深刻です。流山の米づくりがダメになれば、新川耕地や斜面緑地などの保全にも暗い影を落とします。

## チェック

**「共産党だからお話できます。他は漏れてしまうので…」**

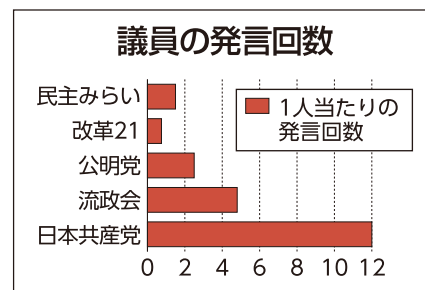
市長の提案に何でも賛成してきた議会のオール与党。チェック役をしっかりと、市長にハッキリものを言う日本共産党への信頼が党派をこえて広がっています。

本会議で、委員会で抜群の発言力

議員の第一の仕事は、議会で発言すること。日本共産党は、本会議、委員会で最も多く発言し、市民の声を届けています。

巨大開発のムダ使いをただす

公共事業見直しなど「どこ吹く風」…事業費2200億円、6万人増を想定するTX沿線巨大開発がおこなわれています。事業の必要性・採算性や自然破壊をただすのは日本共産党だけです。



2010年12月議会（議事録より）

## 政策提案

**「子どもには何の責任もない。当然の提案ですね」**

国保 子どもの保険証取り上げは中止に  
保険料減免、窓口払いの負担引き下げへ

「保険証のある子どもは年10回、ない子どもは2年に1回しか受診していない」と実態を告発。保険証取り上げをやめさせました。保険料減免や窓口払い引き下げも、やっと認めるようになりました。

介護 保険料引き下げ  
負担軽減をやっているのは流山だけ「税務署」

近隣では値上げされた保険料。日本共産党の道理ある提案で、引き下げを実現しました。介護認定者の負担軽減も実現、3年分31万円税が還付された人も…。流山市だけと税務職員も認めています。

## パイプ役

**「わたしたちの陳情に賛成し、粘り強く訴え続けてくれました」**

子どもの医療費助成

新日本婦人の会や地域のみなさんの運動と結んで、長年にわたり議会でも取りあげ、発言もダントツです。昨年、小学3年生まで広がりました。

ぐりんバス路線を拡大

「この街にもバスを」の声に、みなさんといっしょに、署名をひろげ市とも交渉。当初は計画のなかった野々下・古間木コースが実現しました。

ごみ袋有料化にストップ

3年前、一袋80円のごみ袋有料化を市長が突如提案。日本共産党は、直ちに、元ごみ焼却場建設反対グループの方たちとも協力、運動を広げました。議会では「有料化反対」の陳情がオール与党の反対で不採択となりましたが、とうとう市長に断念させました。

## 議員報酬 削減の条例を提案

オール与党が報酬引き上げを決めた時、「市民生活が大変な時に報酬をあげるべきではない」と唯一反対しました。

議員の表決が公開—議会改革

電子採決が始まった9月議会。議員の議案への賛否が初めて明らかに…。日本共産党は、長年実施を求めていました。

## 流山 有料道路 無料化提案 「半分は共産党の提案もらった」



早期無料化求める意見書が3月議会の特別委員会で提案されることに。提案者から「半分は12月議会でも日本共産党が提案した内容」と説明しました。

## 「福祉手当」差し押さえを撤回

家計が大変でも、子どもの将来を心配し、1円も使わなかった福祉手当。ところが、無慈悲にも、68万円の市税滞納を理由に差し押さえられてしまいました。悩んだ末に共産党議員に相談。直ちに、差し押さえが撤回されました。

これで、中学入学の準備ができます。



## 企業にも 「毎年来ていただいています」 (東武担当者)

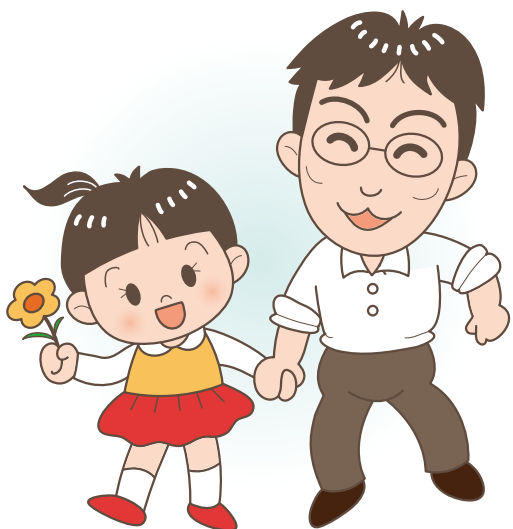
駅や踏切の改善を要請する東武鉄道交渉。各方面からの交渉を断っていた担当者も「毎年来ていただいている」と交渉を快諾。東武鉄道も認める『継続は力』です。



# 小田桐たかし物語

## 子の成長と一体で親も成長

三月も近い、大風の冷たく吹く日、小田桐たかしさんは、四年生になる愛娘の授業参観に行きました。クラスが二十九人になって、教室全体にゆとりが出ています。「産んでくれてありがとう」「二重飛びが一杯できました」：子どもたちの話や成長に涙腺が緩みます。クラスの団結、全力で寄りそう先生や親御さん、日々の積み重ねの大事さを実感します。同時に、



学校が増え続ける非正規雇用の現実が子どもにも先生にも学校にも突きつけられてい

ます。政治の役割に、心をたぎらせませす、さあ四期目にチャレンジです。

## 幼少から青年へ

小田桐さんは一九七三年に神戸の市営住宅で生まれました。お父さんは日本共産党の専従職員、お母さんは町の医院で事務仕事をして家計を助けていました。

冬でも半袖半ズボンで走り回る元気っ子。幼少時代からの大好物がお母さんの作る「いかなご」の佃煮。というより、経済的な理由もあり、おかずはいつも「いかなご」しかなかったと笑って話します。今まで一度も骨折したことがないと感謝も忘れません。

中学生では、風紀委員長に推薦されて、毎朝校門の前に立ちました。先生の服装点検の日は、ツツパリの子達にも事前に教え、問題がおきないようにししました。十

二年欠かさない朝の駅頭宣伝を続けられる体力と、外見で判断しない姿勢は、この時培われたのでしょうか。

高校合格発表の日、お父さんが心筋梗塞で倒れ、半年間、生死の境をさまよいました。みんなの支えで回復しましたが、今度はお母さんが腎臓を傷め、透析することになるのに、どうして？…そんな思いが広がります。

## 初めての挑戦

高校・大学を通じてラグビー部に入部。一人はみんなのために、みんなは一人のためにと二十一才で共産党に入ります。

阪神大震災では、心配する小田桐さんに、ご両親は「こっちは大丈夫。国家試験に最善を尽くせ」と話されたそうです。二か月後、試験の終了した日に徳島から神戸に向かいました。瓦礫のなか、水もないなか活動するボランティア活動に感銘を受けました。またご両親の言葉の真意を悟ります。

診療再開を優先する神戸市内の病院では就職できず、東葛病院に就職しました。

レントゲン技師として、仕事面でも充実していました。が、費用を気にして脳腫瘍検査をためらう患者さんたちの姿に胸を痛めてきました。

二度挑戦したら」との働きかけに応じ、二十五歳で市議選立候補を決意しました。一九九九年、春風を受けながら白いタスキをかけ自転車をこぐ小田桐さん。緊張気味に街頭演説を終えると、近くで遊んでいた小学二年生の女の子二人がタンポポの花束を手に寄ってきました。「ハイ、これあげる」「えっ、僕にじんわり熱いものがこみあげてきます。「しっかりせなあかんとがんばり、トップ当選しました。

## 初石駅改善

『国民の幸せを実現する』をモットーにがんばる日本共産党の議員として、家族の支えも力にして、文字通り東奔西走。全議会で質問しています。保育や介護保険、オタクカ保護、ごみ焼却場建設：国や県との交渉は、十二年間で、四〇回を越えるのです。産廃を認めない環境庁（当時）には、瓦礫の塊（五、六キロ）をバックから取り出し

ました。「こんなものが…」と絶句する官僚。「よく持つてこれた」と同行した人たちも仰天してしまいました。「小田桐君の若さとパワーはすごい。よく働く」は地域の人たちの定評です。市政に市民の願いを届ける姿に、「人をめつたに褒めない議員さんも『よく勉強してる』と評価する」と市職員から声がかかります。

二〇〇三、〇七年の選挙では「できもしないことを公約してる」まちの噂話をタクシ一の運転手さんが教えてくれ、負けないでと励ましてくれました。それを力に、初石駅はトイレの水洗化、守谷県道の踏切改善、エレベーター設置がすすみました。駅東口案も「検討できる貴重なご意見」と東武鉄道が回答しています。

## 痛みが分かる議員

ある時、小田桐さんに「息子がいなくなった。家もなくなる」という相談がはいりました。自宅には借金取りの通知が散乱するなか七十三歳のご婦人がひとり座っています。さっそく市や公団に掛け合い、生活の再スタートをき

ることができました。また「サギにあい、店もたたみ、死のうと思っていたけど、救ってくれた」と涙ながらに小田桐さんとの出会いを話す方もいられます。「お世話になって」と謙遜する相談者に、「市民の声、一つ一つの相談、家族とのふれあい」が自分の血肉になって、他の方の手助けに役立つんです。その分、人の痛みに共感できるんです」と声をかけます。小田桐さん。期待が広がります。

〇三年の選挙のとき、中学生だった子どもたちと成人式で出会いました。みんな大きくなっています。駅前や仕事先で会うとなんだかすがすがしい気持ちになります。『無縁社会』といわれる今、小田桐さんはもつと市議として働きたい、そして流山に住んで本当によかったとみんなが思えるように、人と地域の輪を広げ、結びあえるやさしい『市』にしたいと頑張っています。

皆さん、小田桐たかしさんに市政で働いてもらうために、どうぞ応援してくださいね。

（作 白木恵委子）